



清流小学校だより

～2月号～

令和6年2月16日

Ask not what your country can do for you; ask what you can do for your country.

教頭 佐藤 宏樹

いよいよ今年度もあとわずかとなりました。学習参観も終わり、学校では今年度のまとめ、そして次の学年に向けての準備に少しずつ取りかかっています。

さて、今回のタイトルは英語で書いてみました。中学校の英語の教科書でも偉人の名言としてよく紹介される英文です。日本語では、「国があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが国のために何を成すことができるのかを問うて欲しい」と訳されますが、この言葉は、1961年の1月20日、積雪の残る極寒の首都、ワシントンD.C.で行われた大統領就任演説の中で、第35代米国大統領、ジョン・F・ケネディが語った言葉です。当時は社会的な混乱等で、アメリカという国が不安定な状態にありました。そのような中で、この言葉をよりどころとした国民が、自分のためだけでなく、自分が所属するアメリカという国のために一丸となり危機を乗り越えたのでした。

これからの未来を担う清流小学校の子供たちが、本校での学びを通じ、「かしこく」「正しく」「たくましく」成長できるように、本校教職員一同が清流小学校のために何ができるかを考えながら、一丸となって日々の教育活動に取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2月～3月の主な行事予定

2月	3月
22日(木) 6年生を送る会	18日(月) 卒業式
29日(木) イルミネーション最終日	21日(木) 給食最終日
	22日(金) 修了式

裏面もご覧ください！

～ 5年生の取組より～

子供たちは6年生を送る会実行委員会を立ち上げ、22日(木)の6年生を送る会へ向けて一生懸命準備をしています。送る会の企画・運営の中心となるプロジェクトリーダーや招待関係、音楽・入退場係、飾り係、幕間係等、一人一人が自分の力を最大限に発揮できる係になり、取組を進めています。時には、自分たちの思うように活動が進まないこともあります。しかし、限られた時間の中で意見を出し合い、どうしたらお世話になった6年生へ感謝の気持ちが伝わるのかを考え、意欲的に取り組む姿が見られます。「なぜ6年生を送る会をするのでしょうか、毎年しているから今年もするのでしょうか。」と、子供たちに質問したことがあります。子供たちからは、「6年生に今までの感謝の気持ちを伝えたい。」「今度は5年生が学校を引っ張っていく番だから、6年生に代わって頑張っていきたいという思いを伝えたい。」という答えが返ってきました。5年生は、もうすぐ6年生から最高学年のバトンを受け継ぎ、学校のリーダーとなります。そんな子供たちの姿がとても頼もしく思えました。

6年生を送る会は、6年生にとって最高の思い出になることはもちろん、5年生の子供たちにとっても「なりたい自分」に変わっていくためのチャレンジになると信じています。



1月の様子より

1月26日(金)



第9回フレスマ集会

給食委員会の発表では、「のこさず」「バランスよく」「おいしく」の3つのキーワードと関連したクイズや、正しい片づけ方についての呼びかけを行いました。



大谷翔平選手からのグローブ贈呈式

グローブが紹介されると、児童たちからは大歓声が上がりました。大谷選手の思いを児童たちに伝え、代表児童によるキャッチボールを行いました。